

広報 いまり

市の人口	
2月1日現在	
総人口	63,146人
男	29,774人
女	33,372人
世帯数	15,128世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和45年3月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 191



高校卒業式は、2月に終わりました。市内4高校の卒業生1,199人は就職769人・進学338人・自営家事92人とそれぞれの道へ進みました。中学校の卒業式は、17日です。

—— 卒業おめでとう —— — ことしの市内高校の卒業生は1,199人 —

広報こよみ

8日 県指定PTA研修会（山代西小）

9日 文部省委嘱婦人学級（牧島小）
10日 定例市議会
12日・26日 交通事故相談
17日 中学校卒業式
20日 小学校卒業式
法律相談

☆つごうによって変更することがあります。
☆あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

伊万里市は交通安全宣言都市です

カッとする心の動きが事故のもと

3月

第1回臨時市議会

市庁舎の位置決定持ち越す

滝川内に簡易水道を建設

昭和44年12月市議会で継続審査になっていた市庁舎建設位置の決定や昭和43年度一般会計・特別会計の決算などを審議する臨時市議会は、2月16日に開きました。

昭和43年度の決算状況は、3月中旬、特集号でお知らせします。

☆☆☆

市庁舎の位置決定はさらに継続

☆☆☆

市民の関心を集めた市役所の位置を立花台地にしたいという条例の改正案は、さらに継続審査になりました。

1月には、中心商店街のかたの了解を受けるために話し合いを行いましたが、まだ一部の反対があります。こんごも話し合いを重ね、調整する必要があるということから継続審査になったものです。

☆☆☆

一般会計に495万円を追加

☆☆☆

昭和44年度の一般会計に495万円を追加、総額は30億5,500万円になりました。追加のおもなものは、次のとおりです。

歳出

- ▷南波多町水留の林業振興パイロット事業費 121万円
- ▷消防団員退職報償金 314万円
- ▷伊万里中学校移転のための用地購入費と排水溝工事費 145万円
- ▷昭和44年災害復旧費 150万円

歳入

- ▷南波多町水留の林業振興パイロット事業の地元分担金 41万円
- ▷災害復旧事業の国庫負担金 100万円

▷林業振興パイロット事業の県補助金 40万円

▷消防団員退職報償金の受入金 314万円
歳入495万円に対して、歳出730万円です。不足する235万円は、予備費をあてています。

☆☆☆

滝川内に簡易水道を建設

☆☆☆

東山代町滝川内に簡易水道を建設するため、認可申請をすることにしました。認可があれば、昭和45年度に工事をします。

同水道は、滝川内地区の100世帯(450人)に1日70トン水を給水する計画です。事業費は、1,750万円を見込んでいます。

いままで、同地区は、桶久炭鉱が設置した給水施設を利用していました。43年5月、同鉱が閉山したため市営の簡易水道を設置するものです。

ことし植物輸入港に指定



港湾条件の整備すすむ

伊万里港が、植物輸入港の指定を受けることになりました。農林省に対して、指定の陳情を続けていたものが、国の45年度予算で認められたものです。

昭和40年4月に植物検疫準特定港の指定を受けていましたが、木材の輸入だけで、そのほかの植物は輸入できませんでした。また、入港のたびに、佐世保の防疫出張所から職員が出張して検疫するなど不便をきたしていました。

植物輸入港の指定で、植物防疫の出張所が設けられ、防疫職員が配置されます。これで輸入植物の検疫が伊万里港でできることとなります。

伊万里港の輸入状況を見ると、昭和39年、ラクダ産業株式会社の操業以来、合板工場の誘致がすすみ、39年16隻・41年35隻・43年70隻・昨年は115隻と年ごとに増加しています。ことしは、160隻でいどの入港を予定しています。

伊万里港は、40年4月植物検疫準特定港・42年6月開港・42年9月輸入木材特定港・42年11月入国管理港の指定をうけています。このように国際港としての整備がすすんでいますが厚生省が管轄する船員や乗客の検疫港指定がありません。こんごも厚生省に対し、検疫港指定を働きかけることにしています。

引揚者特別交付金

請求は3月31日まで

引揚者の特別交付金請求は、3月31日で時効になります。

請求できるかたは、外地に終戦まで1年以上生活し、戦後やむを得ない理由で引揚げたかた・または、引揚げるのができないまま死亡したかたと引揚船上で死亡したかたの遺族です。

また請求のすんでいないかたは、早めに市福祉事務所まで手続きをすませてください。

市庁舎の位置問題

3月議会で三たび審議

1月～2月の動き

12月の定例市議会で継続審査になった市庁舎の位置についての問題で1月から2月にかけて、商工会議所商店連合会・反対者・区長会と懇談会を開きました。

▷商工会議所常議員会(1月12日)

○商店街は、昭和47年度までにアーケードをつくりたいので、本町～上伊万里駅線をはやく開通させよ。
○資材費の値上りや佐賀県への国体誘致に伴う市費の体育施設への投入などを考えると、財政的に支障なければはやく市庁舎を建設しておくべきだ。

▷商店連合会3町・反対者との懇談会

(1月16日・24日)

○条例案が提案される前に会合をもつべきではなかったか
○市民の立場から不適地だ。
○立花台地だけを候補地とする単独諮問であるため反対である。

○市長選挙を控えているので継続審査にすべきだ。

○市庁舎建設審議会のメンバーに伊万里町や反対者の代表を入れていないので答申を認めない。

▷各町の区長会(2月12日～14日)

○審議の段階は、答申で終わったはずであり、市長は方針どおり推進せよ。

○バイパス取付道路をいそがれたい
○行政上から好ましい位置に建てるべきだ。

○市議会の決議事項だから民意を代表する市議会議員は良識と責任をもって態度を決めよ。

○立花台地は市有地であり、すでに

市庁舎建設は始まったのと同じだ。大局的立場から結論をだされたい。

○山口市長の在任中に決定せよ。

▷市議会全員協議会(2月14日)

山口市長は、市議会へ次のように要請しました。

12月の定例市議会で継続審査になったのは非常に残念である。答申を尊重し、市議会に提案しており、高い視野に立って判断し、市民の期待にこたえてもらいたい。市議会の責任と良識を信頼している。わたしも



▷商店連合会との懇談会<

政治生命をかけ、伊万里市の将来のため、あやまらないようにしたい。商店街の振興策などについては、答申の付帯意見としてもらわれており十分にこたえていきたい。

これに対し、全員協議会では、

▷立花台地案は尊重したいが、反対者を納得させる時間が必要である。
▷商業振興につながる街路建設など市の努力がほしい。

▷こんごの市政執行・伊万里川拡幅事業に伴う移転者への影響・県総合庁舎や農協会館の建設などを考えると3月定例市議会までまったほうがよい。それまで、反対者を説得せよ
▷市政の流動期であり、継続審査にせよ、などの意見が出ました。

2月臨時市議会での

総務委員会報告(2月16日)

「基本的には12月市議会で報告したように市庁舎建設審議会においてもその審議の過程で慎重に討議されたもので、市5か年事業計画の中で地域開発を想定しながらもっとも重要事業として取り組まれており、早急に位置決定をすべきだとする方針に変わりはない。

しかし、位置決定については重要な問題であり、いまだに一部市民の反対もあり、その不安をなくすよう当局においても更に話し合いを重ね調整を図る必要があると思われるので、継続して審査すべきものと決定した」

移動市役所・市政懇談会を開催中

(2月23日～3月上旬)

市議会での「継続審査・当局においても更に話し合いを重ね調整を図る必要がある」との結論に伴い、執行部は、2月23日から16か所で移動市役所と市政懇談会を開いています。

そのため、市庁舎の位置に関する条例改正案は、3月上旬に招集される定例市議会で三たび審議されることになりました。

広報のお礼に1万円

東山代町浦川内出身の鹿新八さん(福岡市西新町2丁目19の2)から広報活動に役立ててくださいと1万円の寄付をいただきました。

市外で活躍している市内出身者に郷土のことを知ってもらうため「広報いまり」を毎月送っています。そのお礼として寄付されたものです。

係は、寄付の趣旨にそうよう広報発行の経費にあてることにしました。

動き出した米の生産調整



推進協を設け1,200トン減産

米の生産調整が、円滑・適正に実施できるように市米生産調整推進協議会ができました。

2月18日、市・農協や生産組合長代表など関係者60人が集まり、いままでの経過やこんごの問題について話し合いました。

目標は 1,235トン減産

県は2月12日、各市町村に対して調整目標を示しました。市は294ヘクタール・1,235トンです。これは過去の平均収量・政府売り渡し実績他作物への転作の難易などを考慮して決められたものです。

全国で100万トン・県で2万700トンが目標です。全国で目標とする100万トンのほかに50万トンを、県や市町村・民間などの水田買上げ転用による減産を見込んでいます。

古米在庫は 約560万トン

米の生産調整は、なぜ必要なのでしょう。

農家の努力と品種改良・技術の向上・土地改良などで収量がふえたことと作付面積が増加し、毎年1,400万トン以上もとれています。これに対して、米の消費量は年々減少しています。国民の所得が向上するにつれて、牛乳・肉類・くだもの・野菜などの消費がふえ、米は、最近5か年間に100万トン以上も減少、いま

では、1年間に1,200万トンていどの消費です。

古米在庫は、約560万トンあり、このままでは、ことし10月末で、約800万トンの在庫が見込まれます。さらに、こんご毎年、150~200万トンずつ過剰米がふえることになります。

このように米の過剰は、一時的なものではありません。緊急やむを得ない方法として生産調整をすることになったものです。

調整は農家の自衛手段

米の過剰は、食糧管理制度の運営をむずかしくしています。

食糧管理制度は、戦中・戦後を通じて、国民の食糧確保・消費者の家計安定・農家経済の向上に大きな役割を果たしてきました。しかし米の在庫はふえつづけ、これ以上の収容はできません。政府は、買入米トン当たり3万7,000円を負担しているため、昭和44年度は、農林関係予算の40パーセント弱・約3,000億円を食糧特別会計に繰り入れています。

また、保管費用もトン当たり1万円以上かかっているのです。売れる見込みのない米をこれ以上生産することは、国民経済上からも許されません。そのための財政負担についても国民の納得が得られず、食糧制度をなくす原因にもなります。

生産調整は、強制的なものではなく

農家の自主的なものです。食糧制度が、農家経済に果たしている役割を考えると、生産調整は農家の自衛手段ともいえるようです。

米の需要増に努力

生産をおさえるだけでなく、消費をふやすことも必要です。政府は、みそ・しょうゆ・せんべいなどの原料として、外米でなく内地米を使用するのをはじめ、そのほか学校給食なども検討中です。

海外への輸出・援助にも努めています。すでに、韓国・パキスタン・インドネシアに援助しました。沖縄へも輸出する計画です。

転作補償金は 反当3万5,073円

生産調整による転作・休耕田に対して、反(10アール)当たり全国平均3万5,073円を補償します。それぞれの水田について、共済の基準反収を基礎にして計算することになっています。

しかし、調整による減反は農家経済を苦しめます。転作指導を徹底し、地域の特性を考え、畜産・そ菜果樹など安心して生産できる施策が望まれます。また、第2次農業構造改善事業の実施・農道やほ場整備など生産基盤の強化も必要です。

農家の皆さんも、生産調整に進んで協力し、安心して米作りができるよう食糧制度を守りたいものです。

今春の新入児は 38年4月2日~39年4月1日生まれ

今春の小学校入学児は、昭和38年4月2日から39年4月1日までに生まれた子どもたちです。すでに、市教育委員会は、入学通知を発送しています。通知のないかたや通知のあとで住所変更をされたかたは、市教育委員会へ申し出てください。

住民登録をしていないかたには、通知をしていません。いまず登録の手続きをすませましょう。

ごみ焼却場着工 6月に完成

ごみ焼却場の建設が始まりました場所は、山代町楠久で、いまの山代焼却場付近です。

総工事費は、6,042万円で、6月に完成する予定です。財源は、国の補助金500万円・市費2,142万円・厚生年金積立金からの融資 3,400万円です。

現在、1日にでるごみ12トンは、脇田と楠久の両焼却場で処理しています。

生活の向上でごみの量がふえ、いまの施設では処理できないようになったこと・施設が老きゅう化したこと

南波多小に 屋内運動場完成

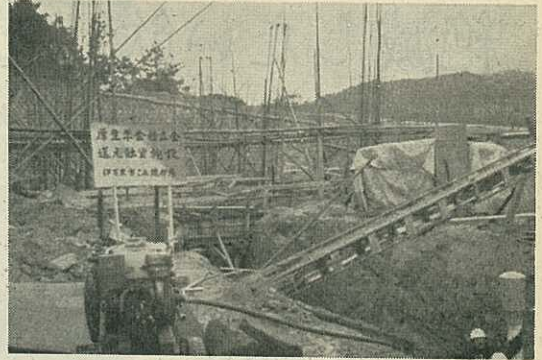
黒川小の危険校舎改築・南波多小の屋内運動場が完成しました。大川小と二里小の管理棟舎もまもなく完成します。

黒川小は、鉄筋コンクリート2階建て・171平方メートル（普通教室2）で、工費525万円です。

南波多小の屋内運動場は鉄骨造り・422平方メートル・工費1,100万円です。

大川小と二里小は、鉄筋コンクリート・2階建ての管理棟舎で図書室理科室・保健室・宿直室・放送室な

と・脇田地区が住宅地区として発展し、環境上位置が好ましくないなどから新設するものです。新しい施設は、1日に30トン処理します。



▷建設中のごみ焼却場◁

市民病院長に—— ——国武氏（内科）決まる

岩永知勝医師の退職で、空席だった市民病院長に、国武寅次郎医師（43歳）＝内科医＝が決まり、2月13日に着任しました。

同医師は、いままで、福岡県筑紫郡大野町の十善会病院内科医長とし

て勤務してました。開業のため1月に退職した岩永前院長の後任として、市



▷国武院長◁

と県医師確保対策協議会の懇請で決定したものです。

これで同病院は、国武院長のほか1月に着任した高橋医師＝副院長兼外科医長＝と九州大学山本医師＝内科医・短期常勤医師＝・九州大学胸部疾患研究所から2人（毎週1日）診療にあたってもらうなど陣容が整いました。

こんごは、交通事故などの救急にもあたり、市民の病院として、皆さんに迷惑をかけないように対処していきます。



▷完成した南波多小屋内運動場◁
を造っています。大川小は、568平方メートル・1,731万円・二里小は、557平方メートル・1,709万円を要します。

電話エチケット ⑧

故障のとき

受話器を耳にあてたとき、なんの音も聞こえなかったり、他人の話がもれてくるようなときは故障です。近くの電話で故障係（113番）へご連絡ください。また、なんどかけても話し中のときも、故障係へおたずねください。

窓口案内

福祉年金—受給権者の死亡

老令・障害・母子・準母子福祉年金をうけているかたが、年金の裁定請求をしたあとに死亡し、未払いの年金があるときは、死亡後6か月以内に請求してください。

請求できるのは、死亡者の配偶者子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹な

どの遺族です。

手続きは、国民年金証書・身分関係がわかる住民票謄本・印かんを市民課へ提出してください。

知らないために、受けられる年金を受給しないかたが多いようです。

絶滅したい飲酒と無免許 637件・695人が死傷



伊万里警察署と市交通対策協議会は、昨年の交通事故発生状況を発表しました。

昭和41年 435件・42年 523件・43年 564件から昨年は、637件発生し死者8人・けがをした人 687人になりました。件数は、昭和41年に比べて46パーセントの増です。1日平均1.7件発生したことになります。

全国では、71万7,621件（死者1万6,258人・傷者95万1,542人）・県内で7,594件（死者158人・傷者1万252人）発生しています。

死者は減少

けが人は急増

昨年の事故を43年と比較すると、件数は73件・12.9パーセントの増、死者は7人・46.6パーセントの減少です。しかし、けがをした人は164人・31.4パーセントもふえています。全国平均でけがをした人は、14.9パーセントの増加に比べ、市内でのけが人は、急激にふえています。昭和38年（130人）から5.3倍にふえたことになります。

637件の事故のうち、人命に損傷のあった事故は494件です。

月別の発生状況は、11月が50件でもっとも多く、少ないのが9月の33件です。また、曜日別には、土曜日81件のほかは70件前後の発生でほとんど平均化してきました。

国道沿線で70%

安全運転違反は44%

地区別の発生状況は、南波多町・大坪町・二里町・東山代町・山代町など国道沿線で349件・総数の70パーセントが発生しています。

事故の原因をみると、わき見など

安全運転違反が 219件で44.3パーセントを占めています。ハンドル・ブレーキなどの操作不確実・追越違反車間距離不保持による事故も多いほうです。飲酒運転事故も24件あります。

また、歩行者が原因になった事故では、幼児のとび出し・車の直前直後の横断など52件があります。

交通三悪の一つといわれる飲酒運転事故は、43年の50件から昨年は、24件に減少しました。しかし、無免許運転12件とともに絶滅したいものです。

原因になった車は、普通トラック144件・普通乗用車79件・バイク67件が多く、自転車や乳母車などが原因になった事故もあります。

のぞまれる安全教育と

みんなの自覚

直接の原因となった当事者の職業をみると、バス・タクシー・トラックなどの職業運転手80人・農業50人商店など小売卸売業48人・建設業42人が多く、幼児17人・小学生11人・中学生4人・高校生23人もあります

これらを1,000人当たりでみると建設業16.1人・小売卸売業12.3人・公務員10.7人・製造業9.6人が事故の原因を作っていることになります。また、中学生0.9人・小学生1.6人に対し高校生が7.0人と多く、高校での交通安全教育の徹底がのぞまれます。

同じように建設業・公務員などは勤務後に飲酒の機会も多いため、より以上の自覚が待たれます。

多いとび出しと

追突事故

事故は、人対車・車対車・車単独の三つに分けることができます。

人対車の事故は、路上へのとび出しや道路横断中の事故が多く、歩行者も安全交通にもっと注意しなければならぬことを物語っています。車どうしの事故をみると追突97件・追い越し47件など 急停車・追い越しには特に注意しなければなりません。

大きな人命事故につながる踏切事故も2件（死者2人）あります。踏切通過の原則を忘れてはなりません

直接原因者の住所別では、1,000人当たり南波多町6.5人・東山代町6.2人・伊万里町6.0人が多く、波多津町1.3人・二里町と大川町3.0人が少ないほうです。地域ぐるみで安全運動を推進したいものです。

福岡・長崎県など県外車の事故も114件・23パーセントあります。

交通事故は、加害者だけでなく、被害者も悲惨な生活を余儀なくされます。いつ・どこで・だれが事故にあうかもわかりません。

家族で、職場で交通安全の話題をとりあげ、意識を高めて事故防止に努めてほしいものです。

1,000万円が灰に

火災発生状況を発表

消防署は、昨年の火災発生状況を発表し、火災予防を呼びかけています。昨年の発生件数は36件で、1,028万円の損害です。43年と比べると、4件減少していますが、損害額は、204万円ふえています。

原因はたき火・たばこの不始末

月別には、7・9月はゼロ、2月7件・3月に6件発生しています。火を使うことが多く、空気が乾燥する時期に発生しやすいといえます。

火災の原因は、たき火やたばこの不始末をはじめ、子どもの火遊び・電気配線の不良によるショート・石油ストーブの取り扱い不良など、チヨットした不注意がほとんどです。

2月には、多久市で「サイレンを鳴らして走る消防車が見たい」と放火した子どももいました。子どもの火遊び・たばこの投げ捨て・たき火のあと始末・電線のたこ足配線など特に注意がのぞまれます。

老人子どもは逃げやすいへやに

時間別には、朝7時～8時・ひる12時～1時・夕がた4時～5時にそれぞれ4件発生しています。炊事中の火が、火災になったものと考えられます。

夜8時から朝7時までの夜間には8件発生しています。ことしは、全

国的に老人の焼死者が目だっています。家庭で取り残された老人・子どもと別居する老人など社会問題として論議されるようになりました。老人や子どもは、逃げやすいへやに寝かせ、尊い人命を守りたいものです

ことしはすでに11件

36件のうち23件が建物火災です。914平方メートルを焼き895万円が灰になっています。山林18アールと車両5台も焼いています。

これらの火災で、1,028万円の損

害を受け、市民1人当たり163円・1世帯当たり680円の損害になります。

過去5年間の1人平均263円・1世帯平均1,138円の損害額と比べると著しく減少しています。しかし、尊い人命と財産をみすみす灰にはできません。

ことしは、県内で1月中に36件発生し、焼死者は4人もでています。市内では、2月11日までに11件が発生するなど昨年以上の発生が予想されます。

交通事故と同じように、わたくしたちのまわりには危険がいっぱいです。電気・ガス・石油など取り扱いを一つまちがえば、大きな事故につながります。火災予防の心がまえを習慣づけ、火災予防に努めたいものです。

海上保安部と消防協定 湾内の船舶火災に備え



協定書を交換する保安部長と伊万里市長

市は、2月23日、唐津海上保安部との間で船舶火災のときの業務提携をしました。

隣接市町村との消防相互応援協定に続き、入港隻数がふえた伊万里湾内の船舶火災に備えることにしたものです。協定は、岸壁に係留中の船や施設は市消防本部が、湾内を航行中や停泊中の船は海上保安部が分担することになっています。しかし、お互いに必要があれば、出動を要請することになっています。

化学消火剤など消防器材の整備・情報や資料の交換なども行ない船舶火災に備えることにしました。

黒川町に消防車を配置

消防本部は9台目の消防自動車を215万円で購入、黒川町に配車しました。配車にさきだって黒川消防団員15人の特別訓練を5日間行ない、万一の火災事故に備えています。

交通指導員の制服できる

市交通指導員の制服が、このほどできあがりました。市民の安全交通を守るために毎日街角に立ってご指導いただいている31人の指導員全員に支給しました。

制服は、薄いあい色のシングルです。1着が7,000円で、県と市が半額ずつ負担しました。これは、県内各市町村の指導員全員に支給されたものです。



市政モニター随時通信

◎伊万里川改修事業とは比較できないほど小さな災害でも、地域住民や耕作者が困っている所も多い。

現場を確認し、復旧できるように配慮せよ。

おこたえ 指摘された現地を調査しました。農道の災害復旧基準は、幅が1.2メートル以上でなければなりません。指摘の箇所は、幅0.6メートルであるため、災害復旧でとりあげることはできません。もちろん国の承認も受けてありません。

関係部落の区長と打ち合わせ、農作業のできるていどの応急工事を依頼しました。(土地改良課)

◎血液のRHマイナスは、数が少なく、県では「友の会」があると聞いている。わたくしもRHマイナスであり、友の会に加入したい。加入方法を知らせてほしい。市には、そのような制度はないか。

おこたえ 佐賀市水ヶ江町1丁目3番9号県血液センターで取り扱っています。献血などでRHマイナ

電気豆知識

ヒューズが切れたとき

ご家庭の安全器は、いわば電気を通る道の関所です。ヒューズは身をもって安全を守る保安官といえましょう。限度以上の電気が流れるとヒューズが切れ、電気事故を防ぎます。このようにヒューズは切れてこそ役に立つものです。ヒューズのかわりに銅線や鉄線などを使うと、一度に多くの電気が流れすぎて大きな事故の原因になります。

近くの九電営業所か電業所へご連絡ください。無料でヒューズを取りかえます。

スと判定されたかたには、RHマイナス友の会の規則・入会手続き方法などを記載した書類を配布し加入を呼びかけています。市ではまだ取り扱っていません。(保健衛生課)

国旗をたいせつにしよう

市役所は、伊万里市政の中心である。その中心である市役所の門をはいったとき、まず目につくものは、正面に掲揚してある国旗だ

わたくしが、小学校で習った「白地に赤く日の丸をそめて」という歌とはちがいで、灰色にすすけ、なんともみすぼらしい限りである。新年になれば、新しい国旗が掲揚されるものと期待していたが旧年のままだった。

前山総務課長

国民として、もっと国旗をたいせつにし、敬意を表したいものだ。

立花町渚 一市民

「おこたえ」 国旗は国の象徴でありいつも清潔なものを掲げるべきです。

ご承知のように市役所は石炭ストーブを使用しているため、ばいえんがついて一日で真黒になります。再三取り替えていますがこれからは清潔なものととりかえるようにします。

声

岩尾磁器工業 浦の崎工場操業

岩尾磁器工業株式会社(岩尾新一社長=本社西松浦郡有田町)の浦の崎工場が完成、試験操業を始めました。

敷地 2,970平方メートルに鉄骨スレートぶき 1,617平方メートルの工場・事務所が工事費 6,000万円で完

成しています。ここで作られる製品は、化学薬品の貯蔵・輸送用の強化プラスチック容器です。容器は、高さ10メートルの大きなものもあり、陸上輸送がむずかしいため、海上輸送されます。当初は、従業員36人で、年間1億



▶操業を始めた岩尾磁器浦の崎工場<

8,000万円の生産を計画しています。2年目には、従業員41人・生産額2億4,000万円・3年後からは、従業員53人・生産額3億6,000万円を見込んでいます。

あなたの声を市政に

昭和45年度の市政モニターを募集しています。モニターは、勧告者・助言者と呼ばれ、市民の声を積極的に市政に反映させるための制度です。

市政にご協力くださるかたのご応募をお待ちしています。

☆募集人員 24人
☆任期 1年

☆応募資格

- ▷20歳以上の市内居住者
- ▷性別・職業は問いませんが、公職にあるかたはご遠慮ください
- ☆しめきり 4月6日
- ☆申し込みの方法 はがきに次のことを明記して、市役所秘書企画課広報統計係へ郵送してください。・住所・氏名・生年月日 性別・職業

市政モニター募集中心

北 欧 見 聞 記

スカンジナビア半島の西海岸を細長く陣取るノールウェイ。その語源は、ノースウェイ、つまり北の道という意味から生まれたものです。また、スカンジナビアは、よじ登るという意味があります。かつて、フィン族やデーン人が、この半島の山脈をよじ登りながら北上し、北ヨーロッパを制したのではないかと想像するのも楽しいものです。

ノールウェイの首都オスロからベルゲンといういなか町に小旅行をする途中、けしきがどこもなく、日本に似ていたため、ちょっとびっくりしました。日本と同じように山が多いのです。きりたった山の間がU字型にけずられて、複雑な海岸線が見られます。ここが峽湾フィヨルドです。山のいたるところに、氷河時代の遺物を思わせる氷が、異様な光を放って横たわっています。日本の滝の数倍もある氷河の滝。シーンと静まりかえったあたりのけしきが、よけいにその神秘さをかきたてます。

ノールウェイには、NATO（北大西洋条約機構）の本部があり、国防省も訪問しました。

ノールウェイは、第2次世界大戦で100万人の死傷者があったといわれています。人口350万人のノールウェイにとって、それは大きな打撃であったことでしょう。「自分たちの国は、自分たちの手で守ろう」という合言葉のもとに、国民皆兵制度がとられています。男は、20歳から15か月間、徴兵の義務があるので女子の兵隊もありますが、これは、志願者だけで強制的なものではありません。また、民間防衛隊も設置され、待避訓練・信号確認訓練などが行なわれているそうです。

ある日、電話帳を見ていると地図に避難場所を明示してありました。

「北の道」の国 ノールウェイ

同じように、あるアパートには、スーパーマーケットと直結した防空ごうがあるそうです。

隣国、スウェーデンにも、シェルターと呼ぶ防空ごうが市内のあちこちに作られています。数千人を収容するシェルターは、岩山をくり抜いて作られ、いつもは自動車のガレージに利用されています。ぶどう酒20万リットル・1年分の食糧・水をはじめ生活に必要なものが貯蔵されて

あちこちに大防空ごう

1年分の食糧を貯蔵・日常は車庫に利用

いるそうです。それらの貯蔵庫を見たいというわたくしたち団員の願いは、どうしても聞き入れられず、内部の通路を見せてもらっただけでした。人けのない、うす暗いけい光灯の下を、靴音を響かせながら、この静けさがいつまでも続いてほしいと願わずにはいられません。国防省の説明では、ノールウェイの人々の75パーセントが軍隊賛成者・反

対10パーセント・15パーセントがわからないという人たちだそうです。

周囲を海に囲まれた日本と他国と国境を接しているヨーロッパ大陸とでは、国防に対する考えが異なるのは当然でしょう。しかし、こと国防については、与野党の意見が一致するというノールウェイやスウェーデンの人々の団結をうらやましいと思いました。

北欧の飲みものといえば、すぐにウォッカを思い出します。北欧特産のじゃがいもから作られる焼ちゅうで、一見白ぶどう酒とそっくりです

でも、アルコール度の強さは比較になりません。そうとは知らず、ひと口ふくんだとたんに口の中

が熱くなり、あわてて飲みこんだら胃にビリビリッ……。目を白黒させたなつかしい思い出もあります。

「わたくしたちの国で十分な満足をうけられましたか」という暖かい言葉をおみやげにノールウェイをあとにしました。

筆者は市内幸善町

富田せい子さん

夫の待つ南米へ

南波多町の斉藤三枝子さん

南波多町府招上の斉藤三枝子さん（21歳）は、2月27日、神戸港を出港、サンパウロで働いている夫作治さんのもとへ移住しました。

作治さんは、昨年7月に渡米、川久保農場（農場主川久保源二さん＝山代町野々頭出身）でバラ栽培に従事しています。

県と市・南波多農協は、2月5日壮行会を開き、激励しました。

三枝さんは、「2

人でバラ園を経営したい。それまでには、いろんな苦しみにあうと思うが、それは覚悟の上です」と話していました。



▷山口市長から記念品を受ける斉藤さん<

剣道で青少年を健全に

親睦を深める大里と大川内小

二里町大里剣道スポーツ少年団(団員35人)は、大川内小学校剣道クラブ(部員35人)を招き、2月11日、大里公民館で親善対抗試合を行ないました。

大川内小学校剣道クラブは同校が「体育研究校」の指定を受けた43年にできています放課後やクラブ活動の時間を利用して、練習を続けています。

大里剣道スポーツ少年団は、3年前に結成、牧瀬義雄さん(市役所勤務)の指導で練習にはげんでいます親善試合は、ことしが2回目です。

会場には、豆剣士の気合いがあふれ、多くの父兄が子どもたちの試合を見つめていました。

子どもたちの父兄は、子どもたちの姿勢が正しくなった・親の言いつけをよく守るようになったなど剣道



▷大里と大川内小剣道部の親善試合<の練習を喜んでいます。

市内にスポーツ少年団は、13団あります。剣道5・陸上競技3・水泳2・バレーボール1・ソフトボール1・サイクリング1団体などで

子どもクラブが、青少年の健全育成に果している役割は、大きいといえます。部落単位にある子どもクラブをもっと発展させ子どもたちの好きなスポーツを通じて、健やかに育てるのも一つの方法です。

スポーツ少年団を結成したいという希望があれば、地元公民館か市教育委員会社会教育課へご相談ください。

種痘予防接種		(東八を除く)	
13日	13.30~14.30	南波多出	
16日	〃	黒川出	
(立目地区を除く)			
〃	〃	波多津出	
17日	13.30~15.00	山代出	
23日	〃	柳井町公	
(大坪・大川内地区)			
24日	13.30~15.00	婦人会館	
(牧島・伊万里・東八・立目地区)			

▶対象者 昭和44年6月1日から44年11月30日までの出生児

▶料金 無料

▶日時と場所

3月10日	13.30~14.30	大川出
〃	〃	松浦公
11日	〃	東山代出
12日	13.30~15.00	二里出

考古学は、先史考古学と歴史考古学の2つに分けられます。

先史考古学は、無土器時代から縄文・弥生・古墳時代まで、歴史考古学は古墳時代以後、つまり奈良時代からを対象にしています。

先史時代は文字がないため、埋蔵物だけを研究の対象にし、歴史時代は埋蔵物と文字が対象になります。

(無土器時代) ①

日本で人間が生活を始めたのは、縄文時代早期(約8,000年前)と考えられていました。昭和24年に考古学者が、縄文時代以前の土器のない時代の遺跡を発見しました。

その後研究が進み、全国各地で土器のない時代の遺跡が発見されています。これで、数万年前に石器だけを使った人間がいたことが証明されたこととなります。

市民の考古学

先史考古学と歴史考古学

この時代を無土器時代(土器のない時代)・先土器時代(土器に先んずる時代)・プレ(Pre)縄文時代(土器の前の時代)と3とおりに呼んでいます。日本でもっとも古い時代は、60万年前といわれています。

この時代は、土器という道具がなく、石器だけにたよって生活していました。さらに、日本はまだ大陸と陸続きであり、各地で火山が活動していたようです。そのため、空からは、火山灰・火山弾が降っていました。

火山の一つが腰岳です。黒よう石は火山弾、赤土が火山灰です。警察署の近くには特に火山灰が多く、堆

積が深いようです。

この赤い土(ローム層という)には、遺物はないと考えられていましたが、現在、全国各地でローム層から多くの石器が発見されています。このことは、地かく変動のはげしい時に人間が住んでいたことを物語っています。

日本列島ができる数万年前に、伊万里でも、石器を使って、山野に動物を求め駆けめぐるっていたことでしょう。

その当時の住居が洞穴であり、石器作製の場が腰岳周辺といえるようです。

しかし、石器だけ出土することで無土器時代と決めることはできません。

筆者は佐賀郡川副町犬井道
森 醇一朗氏
(県立図書館資料課勤務)

商工春まつり 3月5日～4月5日

市内商工業者が一体となって、顧客の誘致・販売促進を図るために、「商工春まつり」が開かれます。

春まつりの期間中は、次のような行事を計画しています。

- ▷商店街共同大売り出し
3月5日～4月5日
- ▷陶器市(駅通り)
4月1日～4月5日
- ▷大売り出し謝恩記念公演
いしだあゆみショー(学園高校)
4月12日
- ▷住まいと建築展(伊万里公民館)
4月3日～4月5日
- ▷のど自慢舞踊大会(伊万里保育園)
4月4日
- ▷自動車ショーと農業機械展
(伊高跡) 4月1日～4月5日
- ▷招待野球大会(伊万里中学校)
4月4日

そのほか、植木市・らん展示会・自衛隊音楽隊演奏などの計画もあります。

会場や期日は予定です。変更することがあります。

◎駅だより◎

万博観光団員募集

伊万里駅で万国博観光団員を募集しています。

- ▷期日 4月20日～4月24日
4月24日～4月28日
- ▷募集団員 各回50人ずつ
- ▷見どころ 万国博・京都市内・比叡山

※団費など詳しいことは、伊万里駅へお問い合わせください。

会社やグループの万博見学にも伊万里駅をご利用ください。ご希望の日時・コース・予算で旅行計画をたて相談に応じています。

個人または4人以上のグループのときは、往復乗車券の割引・往復寝台券の確保、さらに大阪・京都・奈

良・明石付近を何回でも乗られる乗車券のサービスもあります。

申し込み・問い合わせは伊万里駅(電話3046)へ。電話でも受け付けます。

万国博の楽しい見かた

- ▷なるべく平日に。ナショナルデーやスペシャルデーの催しは平日です。
- ▷マイカーはやめましょう。
- ▷入場券はさきに購入しておきましょう。
- ▷ラッシュ時間はさげましょう。会場は、午後10時まで(4月29日からは午後10時30分まで)開場します。午後5時以降は、入場料金は半額です。

水泳クラブ会員募集中

伊万里スイミング(水泳)クラブ(太田明二会長)で会員を募集しています。スイミングクラブは、泳ぎを通じて、心身を鍛練するのが目的です。

練習は、毎週土曜日と日曜日の2回、午後2時から2時間ていど行ないます。5月から9月までは、伊万里商業高校プールで水中訓練、10月から4月までは、陸上トレーニングと2週間に1回、佐賀市にある温水プールで水中訓練をすることにしています。

- ▷募集定員 30人
 - ▷応募資格 できるだけ小学校1年生から4年生まで
 - ▷申込先 伊万里商業高校 木村絃一郎先生(電話伊万里5191)
 - ▷しめきり 3月31日
 - ▷会費 月額500円 入会時にユニホーム・水着・会員バッジ・会員手帳など1,000円ていどが必要
- ※なお、九州相互銀行前田・大坪小森戸・滝野小吉原の各先生が指導します。申し込みやお問い合わせにもご利用ください。

心身障害者の扶養共済制度

心身障害者扶養共済制度ができました。身体が不自由であったり、知能の発達が遅れた障害者をもつ保護者の悩みは、自分に死亡など万一のことがあったとき、あとに残された障害者の生活でしょう。

このような保護者の不安や悩みを少しでもやわらげるために設けられたものです。

▷共済制度に加入できるかた

- 心身障害者の保護者であること
 - 佐賀県内に住んでいること
 - 年令が満45歳未満であること
- 46年3月31日までに加入すれば65歳まで加入できます。

▷毎月の掛金

- 35歳未満 月 1,000円
- 35歳～45歳未満 〃 1,300円
- 45歳以上 〃 1,500円

※加入者が、20年以上継続加入し年令が65歳以上になれば、掛金を納める必要はありません。

▷掛金の減額

生活保護世帯、市民税非課税世帯など生活が苦しく、掛金の納入が困難な場合は、所得に応じて掛金を減額します。

▷年金の支給

加入者が死亡・廃疾になったとき心身障害者に毎月2万円の年金を支給します。

▷弔慰金の支給

1年以上加入し、加入者よりも先に心身障害者が死亡したときは、弔慰金2万円を支給します。

▷加入申し込み

加入希望者は、市福祉事務所に次の書類を提出してください。

- 加入申込書
- 加入申込者告知書
- 障害証明書
- 年金管理者指定届書
- 加入申込者と心身障害者の住民票

加入や制度の詳しいことは、福祉事務所にお問い合わせください。

水道責任技術者試験

市水道責任技術者資格試験を行ないます。この試験は、水道工事店の市指定を受けようとするかたや水道工事店に勤務して、責任技術者の資格を持たないかたに対して行なう資格試験です。

受験希望者は、市役所水道課に申し込んでください。

▶申込 3月15日までに責任技術者承認申請書を提出してください。用紙は水道課にあります。

▶試験内容 水道関係の簡単な常識(筆記)と鉛管接合(実技)

▶受験料 500円(実技試験の材料代)

▶試験期日と会場 3月20日、商工会議所で行なう予定ですが、申込者には通知します。

※詳しいことは、水道課にお問い合わせください。

妊婦検診

- 3月10日 10時~12時 波多津小島医院
3月10日 13時30分~15時 大川山口医院
3月17日 13時30分~15時 南波多小島医院

農地相談

- 3月11日・12日 9時~16時30分 山代出張所
3月12日・13日 8時30分~17時 松浦出張所
3月13日 9時~16時30分 14日 9時~12時 波多津出張所
3月16日・17日 9時~16時30分 大川出張所
3月17日・18日 9時~16時30分 南波多出張所

乳児検診

- ▶対象者 昭和44年3月1日~45年2月28日までの出生児
▶検診内容 体重・身長・胸囲・頭囲計測・医師の診察・保健指導
▶日時と場所

Table with 2 columns: Date (3月) and Location (場所). Rows include dates from 11 to 20 and locations like 南波多出、松浦出、大川出、波多津出、山代出、東山代出、二里出.

※時間 13時30分~15時

次のかたからご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。(敬称略)
社会福祉事業費へ
▼香典返しを寄付
○参千円 草場新太郎(黒川町奥野 亡長女幸子)
○参千円 市川修(立花町 亡母ミエ子)
○貳万円 松原金六(南波

- 多町井手野 亡妻イチ
○壹万円 前出熊雄(二里町内の馬場 亡父藤馬)
○壹万五千元 松尾諭(南波多町高瀬 亡父英雄)
○五千元 前田敏雄(二里町内の馬場 亡母ミサ)
○壹万円 山本長円(東山代町川内野 亡妻すま)
○壹万五千元 渡辺静生(東山代町天神亡母マサ)
○五千元 力武清(大坪町 六仙寺 亡母トキ)
○壹万円 牧瀬光男(木須町木須西 亡父勇一)
○五千元 藤田繁雄(立花町西門蔵寺 亡父林)
○五千元 原口真(松浦町久良木 亡姉ツヤ)
○貳万円 副島鶴子(伊万里町浜町 亡夫武一)
○五千元 原田作市(大坪町永山 亡父初助)
○壹万円 草場スエ子(大川町川西 亡夫強)
○五千元 内海元市(蓮池町 亡母チエ)
○壹万円 斉藤忠明(大坪町六仙寺 亡母ヨネ)
○壹万円 古川末男(松浦町下分 亡父乙市)
○壹万円 梶原金義(二里町東八谷橋 亡父金太郎)
○五千元 前田ハルノ(大町町下古賀 亡母ツヂ)
○五千元 島田満男(松浦町提川 亡母フジ)
○五千元 前田竹雄(山代町東分 亡長男光敏)
○壹千円 高木リユ(山代町城 亡母前田チヨ)
○五千元 川口和子(伊万里町元町 亡夫登)
○参千円 岸田義守(黒川町真手野 亡母シマ)
○五千元 中尾亀造(大川町宿 亡妻ミス)
○壹万円 石部吉明(瀬戸町中通 亡父七郎)
○貳万円 日高昇(大坪町六仙寺 亡母八千代)
市庁舎建設基金へ
▼香典返しを寄付
○壹万五千元 川本茂助(波多津町浦亡母トラ)
市民会館建設基金へ
▼篤志寄付
○八千元 川原鶴次(松島町)
市交通対策協議会へ
▼香典返しを寄付
○五千元 草場トミ子(黒川町奥野 亡夫明)
▼篤志寄付
○七百貳拾貳円 田中徳士(東山代町白幡 拾得物待期満了)
(昭和45・2・20現在)



寄付
おかげさまで
ありがとうございました
父七郎